

平成22年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会  
5大がんクリティカルパス運用ワーキンググループ議事要旨

日時：平成22年6月2日（水） 19:00～20:20

場所：琉球大学医学部附属病院 管理棟 小会議室

構成員：30名

出席者：24名

国吉 秀樹（中央保健所）、上地 博之（北部地区医師会）、仲田 清剛（中部地区医師会）、平良 豊（浦添地区医師会）、喜納 美津男（那覇市医師会）、城間 寛（南部地区医師会）、打出 啓二（宮古地区医師会）、照屋 淳（医師会病院）、仲村 実和子（医師会病院）、嵩下 英次郎（中部病院）、新崎 博美（中部病院）、友利 寛文（市立病院）、比嘉 宇郎（市立病院）、宮国 孝男（市立病院）、外間 尚美（市立病院）、川畑 勉（沖縄病院）、大田 守仁（豊見城中央病院）、長嶺 信治（那覇西クリニック）、下地 英明（琉大病院）、照屋 孝夫（琉大病院）、佐村 博範（琉大病院）、知念 久美子（琉大病院）、武富 孝子（琉大病院）、増田 昌人（琉大病院）

[議題事項]

1. 5大がん地域連携クリティカルパスの作成報告（参考資料）  
5大がん地域連携クリティカルパスの作成経緯や完成したパスについて報告があった。また、2009年12月から2010年3月の期間に離島での4回を含めて合計14回の「5大がん地域連携クリティカルパス研修会」を開催したことが報告された。
2. 5大がん地域連携パスのホームページでの公開について（資料1）  
沖縄県がん診療連携協議会（<http://www.okican.jp/>）のホームページに、沖縄県の5大がん連携パス事業への申込書、5大がんの連携パス本体、同意書のひな形、5大がん地域連携パス事業協力医療機関の一覧を公開していることが報告された。
3. 5大がん地域連携パス事業の申し込み状況について（資料2）  
2010年6月2日現在で、専門施設13施設、かかりつけ施設33施設の申し込みがあることが報告された。
4. 診療報酬について（資料3）  
5大がん地域連携パス関連の算定をするためには、各施設で施設基準の届出が必要で、沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会が行っている5大がん地域連携パス事業への申し込みとは異なることが報告された。委員より、診療報酬について知らないクリニックも多く、沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会よりアナウンスしてはどうかとの意見があった。沖縄県医師会や地区医師会を通じてアナウンスしていくことを検討することとなった。
5. 同意書について（資料4）  
地域ネットワーク部会で5大がん地域連携クリティカルパス適用の同意書のひな形を作成したことが報告された。沖縄県がん診療連携協議会のホームページに公開しており、Wordでダウンロード可能となっている。
6. 専門施設の基準について（資料5）  
谷水班が示しているがん診療の機能分担表では、専門的ながん診療を行う施設の役割として、手術や化学療法、放射線治療の実施、かかりつけ施設の役割として、術後症状コントロールなどがあげられている。それをもとに現在の沖縄県の専門施設側医療機関一覧の確認を行い、不明な施設は直接確認し分類しなおすことが承認された。
7. 次回開催日程について  
今回は平成22年9月1日（水）に平成22年度第2回5大がん地域連携クリティカルパス運用ワ

ーキングを行うことが承認された。

8. その他

- (1) 5大がん地域連携クリティカルパスの今後の予定として、当面は現在出来ている5大がんの術後フォローパスのみ運用を行うことが承認された。
- (2) 5大がん以外の要望の多いパスについては、並行して作成を開始することとなった。
- (3) 沖縄県の5大がん地域連携パス事業への申し込みに関するお問い合わせは、沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事務局で行うこととなった。
- (4) 昨年引き続き「5大がん地域連携クリティカルパス研修会」を開始するところが承認された。
- (5) 開催スケジュールは沖縄県医師会と沖縄県がん診療連携協議会のホームページに掲載することとなった。